

事務事業名		観光誘客宣伝事業			会計	一般会計		事業種別		政策	開始	16	終了	
H27担当課等名		観光課		H27係等名	観光係		H26係等名		観光係					
基本計画上の位置づけ		政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり										
		施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化										
目的	対象(誰・何を)	観光客			対象指標	指標名及び単位				26年度数値				
	意図(どうい状態にするか)	様々なプロモーション活動を通じて、観光客として飯田に来てもらう				飯田下伊那地域を訪れる観光客数(万人)				87				
	向上させたい上位施策の成果指標	観光消費額(億円)												
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)					
	成果指標	飯田市にきた観光客(万人)			100	87	130	110						
	成果指標	飯田市に宿泊した観光客(人)			50000	46600	55000	53000						
	定性目標													
事業概要	<p>関係機関や団体と連携し観光誘客に向けた取り組みを行う。 飯田の魅力効果を効果的に伝えるため、観光協会などと協力し誘客宣伝事業を直接実施する。 また、効果的なパンフレットの企画作成を行い、飯田の魅力を丸ごとPRできるツールに育成する。</p>													
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標					
	1 プロモーションツールの企画作成 パンフレット、まつりポスター、観光用封筒ほか				1 パンフレット等印刷部数				1 61,535部					
	2 誘客宣伝の実施 エージェント訪問、商談会及び物産展への参加ほか				2 誘客宣伝活動の実施回数				2 30回					
	3 ウェブサイトを充実させるための事業の一部委託				3 ウェブサイト数				3 1サイト					
	4 観光関係団体との業務連携				4 業務連携している団体数				4 8団体					
	5 JRとタイアップしたツアー企画				5 催行ツアー数				5 6回					
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足								
事業費計(千円)①		3,708	33,681	5,123	35,112	26→27 繰越明許費 28,504千円								
国庫支出金			28,000		28,000	【26年度特定財源】 (国) 地域住民生活等緊急支援のための交付金(1/1) 28,000千円(全部繰越) 【27年度特定財源】 (そ) 繰越金 504千円								
県支出金														
起債														
その他					504									
一般財源		3,708	5,681	5,123	6,608									
人件費計(千円)②		3,218		3,218										
正規職員所要時間		900		900										
臨時職員所要時間														
総事業費①+②		6,926	33,681	8,341	35,112									
事業内容・目標達成状況の振り返り		御嶽山噴火や白馬村の地震災害などに加え、バス運賃の大幅改正により、市内の観光事業者へ多くの影響を及ぼしている。 飯田観光協会を通じ会員の意見をまとめ県へ実態の報告をしている。												
改革改善の考え方	①問題点	県の観光地利用者統計では、飯田市内の観光施設利用者が減少傾向である。												
	②改革提案	旅行代理店等への売り込みや商談会への参加などを継続的に行う。国の交付金を利用した旅行券事業の取り組みを行う。(26→27繰越明許)												